

高江でのヘリパッド建設強行を許さない！

機動隊は暴力を止めろ！

安倍政権は辺野古新基地建設を断念しろ！

10.30新宿デモ

10月30日(日) 14:00～新宿アルタ前でアピール開始

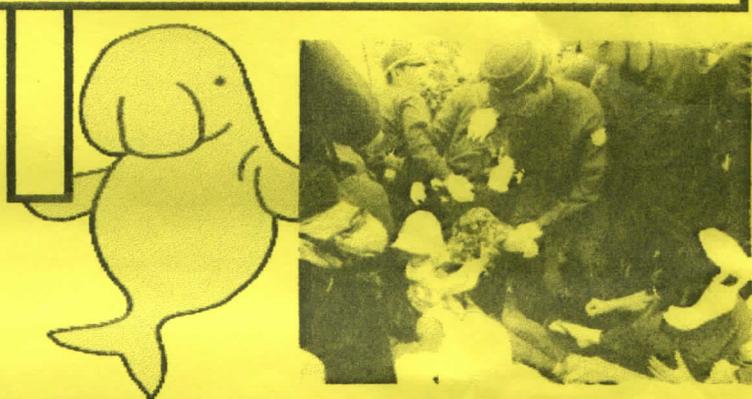
唄 宮城善光 (ナーグシク)

15:00デモ出発

安倍政権による沖縄への凄まじい暴力、弾圧が止まりません！東村・高江、国頭村・安波では防衛省によって米軍のオスプレイパッド（着陸帯）建設が強行されています。高江の住民を始め、沖縄の人々の反対の声を踏みにじり、県の中止要請にも耳を一切傾けず、全国から動員された機動隊に守られて、10tトラックで1日に20～30台もの砂利が建設用地に運びこまれています。山を削り谷を埋め、3,700本もの立木を伐採、提出された計画書にない工事用道路が造成され、希少生物の宝庫である「やんばるの森」がズタズタに破壊されています。

反対し抗議する市民への弾圧もエスカレートしています。9月28日には、「安全確保」と称して、座り込んでいた市民がロープで拘束されるという事態も発生。住民の生活道路でもある県道70号線は機動隊の違法な検問によってしばしば封鎖され、不当逮捕者やけが人も続出しています。これが、「基本的人権」「民主主義」を唱える国のやることでしょうか？

しかし、沖縄の人々は、連日、粘り強い抗議、抵抗を続けています。水曜日と土曜日は沖縄各地から「島ぐるみ」で200～300名が参加して大行動が取り組まれています。全国からも多くの人々が、支援に駆け付け共に闘っています。「本土」=ヤマトでも、安倍政権に抗議し高江でのオスプレイパッド建設を止めさせる行動が求められています。



防衛省へ抗議・申し入れ行動（抗議文持参OK）

11月7日(月) 18:30～防衛省前（市ヶ谷駅下車7分）

辺野古新基地建設を巡り新たな動きもありました。9月16日、前知事が出した辺野古の海の埋め立て承認を翁長知事が取り消したのは「違法」だという高裁判決が出ました。

公有水面の埋め立て許可権限を持ち、新基地建設反対という県民の意思に沿った知事の判断を否定し、「普天間の被害を除去するには辺野古を建設する以外にはない」と、政府の言い分に全面的に従った不当な判決です。年内には最高裁の判決も予想されます。

そうならば、国が裁判所の和解勧告を受け入れて本年3月から中止されていた建設工事が再開される可能性があります。貴重で豊かな自然を壊すな、と言う声は世界各地からも寄せられています。沖縄の「基地問題」は「本土」の私たち自身の問題です。共に声を上げていきましょう。

主催：辺野古への基地建設を許さない実行委員会

連絡先：沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック TEL:090-3910-4140

賛同：沖縄・北部訓練場ヘリパッド建設強行に反対する若者有志の会

高江でのヘリパッド建設強行を許さない！

機動隊は暴力を止めろ！

安倍政権は辺野古新基地建設を断念しろ！

10.30新宿デモ

10月30日(日) 14:00～新宿アルタ前でアピール開始

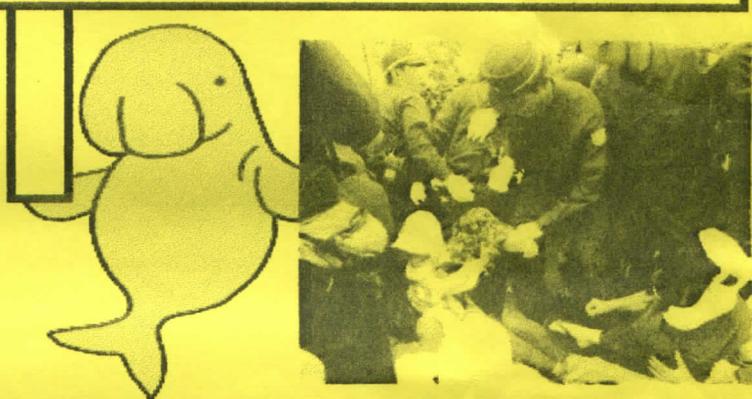
唄 宮城善光 (ナーグシク)

15:00デモ出発

安倍政権による沖縄への凄まじい暴力、弾圧が止まりません！東村・高江、国頭村・安波では防衛省によって米軍のオスプレイパッド（着陸帯）建設が強行されています。高江の住民を始め、沖縄の人々の反対の声を踏みにじり、県の中止要請にも耳を一切傾けず、全国から動員された機動隊に守られて、10tトラックで1日に20～30台もの砂利が建設用地に運びこまれています。山を削り谷を埋め、3,700本もの立木を伐採、提出された計画書にない工事用道路が造成され、希少生物の宝庫である「やんばるの森」がズタズタに破壊されています。

反対し抗議する市民への弾圧もエスカレートしています。9月28日には、「安全確保」と称して、座り込んでいた市民がロープで拘束されるという事態も発生。住民の生活道路でもある県道70号線は機動隊の違法な検問によってしばしば封鎖され、不当逮捕者やけが人も続出しています。これが、「基本的人権」「民主主義」を唱える国のやることでしょうか？

しかし、沖縄の人々は、連日、粘り強い抗議、抵抗を続けています。水曜日と土曜日は沖縄各地から「島ぐるみ」で200～300名が参加して大行動が取り組まれています。全国からも多くの人々が、支援に駆け付け共に闘っています。「本土」=ヤマトでも、安倍政権に抗議し高江でのオスプレイパッド建設を止めさせる行動が求められています。



防衛省へ抗議・申し入れ行動（抗議文持参OK）

11月7日(月) 18:30～防衛省前（市ヶ谷駅下車7分）

辺野古新基地建設を巡り新たな動きもありました。9月16日、前知事が出した辺野古の海の埋め立て承認を翁長知事が取り消したのは「違法」だという高裁判決が出ました。

公有水面の埋め立て許可権限を持ち、新基地建設反対という県民の意思に沿った知事の判断を否定し、「普天間の被害を除去するには辺野古を建設する以外にはない」と、政府の言い分に全面的に従った不当な判決です。年内には最高裁の判決も予想されます。

そうならば、国が裁判所の和解勧告を受け入れて本年3月から中止されていた建設工事が再開される可能性があります。貴重で豊かな自然を壊すな、と言う声は世界各地からも寄せられています。沖縄の「基地問題」は「本土」の私たち自身の問題です。共に声を上げていきましょう。

主催：辺野古への基地建設を許さない実行委員会

連絡先：沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック TEL:090-3910-4140

賛同：沖縄・北部訓練場ヘリパッド建設強行に反対する若者有志の会